



## 15 インチサブウーファー

注釈は最終ページの NOTES をご覧下さい。

### CONFIGURATION

サブシステム	トランスデューサー	音響的負荷
SUB	15 インチコーン x1	バスレフ
動作モード	アンプチャンネル	外付シグナルプロセッサ
シングルアンプ	LF	DSP w/1-Way フィルター

### PERFORMANCE

<b>動作範囲</b>	34 Hz ~ 145 Hz	
<b>公称放射幅</b>	水平	360°
	垂直	360°
<b>軸上能率 (SPL)</b>	LF (whole space)	94 dB
	LF (half space)	100 dB
<b>入力インピーダンス (Ω)</b>	公称	最小
	LF	8
		6.9 @ 40 Hz

### 推奨ハイパスフィルター

ハイパス⇒ 30 Hz, 12 dB/octave バターワース

### アクセラレートライフテスト

システム	LF	65 V	525 W @ 8 Ω
トランスデューサー (AES)		700 W	

### 軸上限界出力算出値 (SPL)

	平均	ピーク
LF (whole space)	121 dB	127 dB
LF (half space)	127 dB	133 dB

### ORDERING DATA

内容	パーツ番号
SB150zP 黒	0008960
SB150zP 白	0012192
SB150zP 黒 (ウェザープルーフ仕様)	0009038

### オプション

アイボルト (3/8-16 x 1.25 インチ)	104001
---------------------------	--------

### DESCRIPTION

SB シリーズは EAW の高品質なサブウーファーで、あらゆる現場に対応できるよう設計されています。また、用途に合わせて選べるような様々なスペックとサイズを取り揃えています。高品質のユニットは EAW がエンジニアリングを担当し、限られたファクターの中で最高の出力と音質を提供します。SB シリーズの製品はいずれもダイレクトラジエーター型で、エンクロージャーは最適にチューニングされたバスレフ型です。SB シリーズは最高の音響特性と最高の信頼性、そして最も丈夫な製品を求められる現場に最適です。

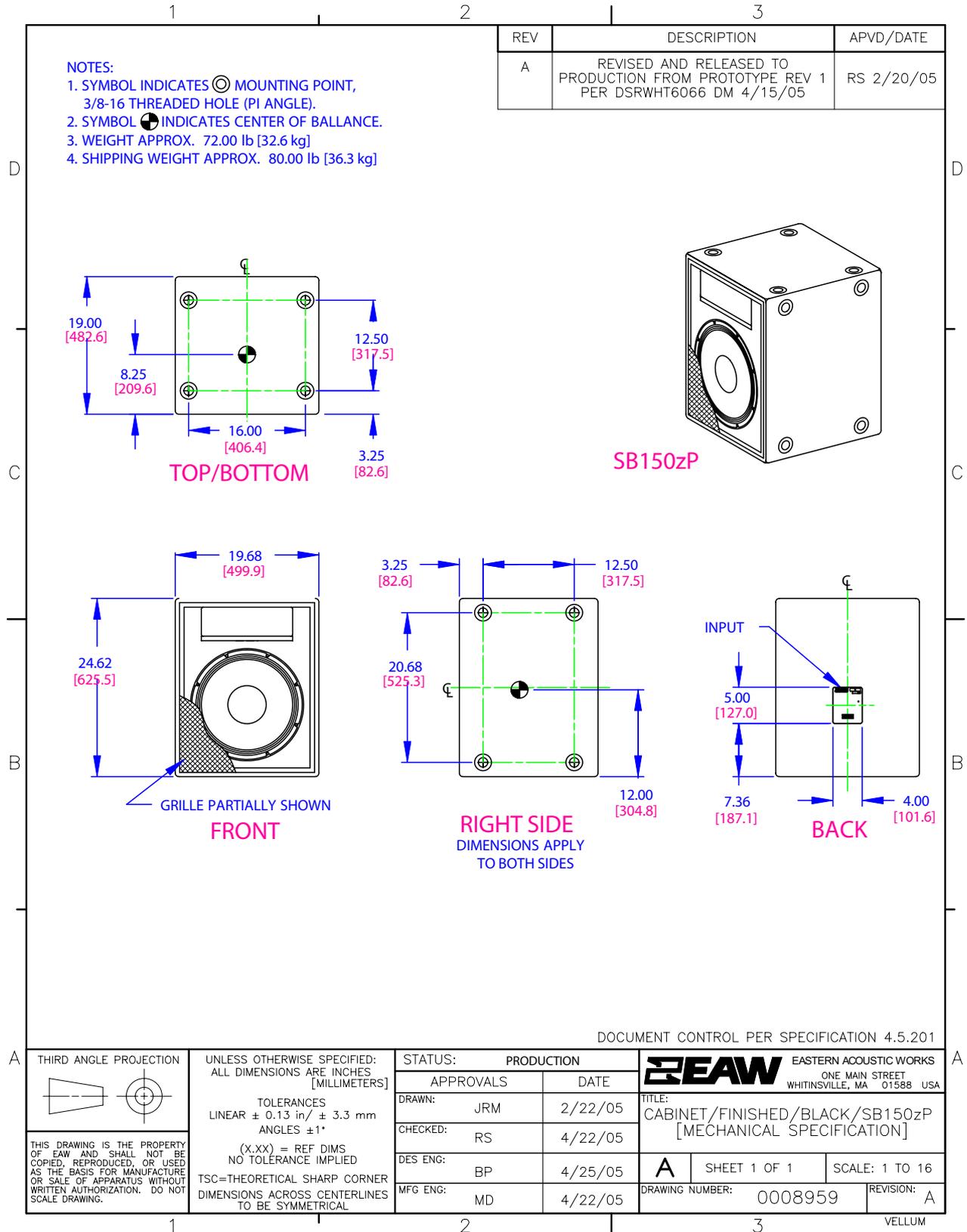
SB150zP は高出力のコンパクトサブウーファーシステムです。多彩で多目的に使用できるサブウーファーとして、15 インチドライバーのインパクトある低域を実現しながらも、比較的狭い場所に設置できるように設計されました。SB150zP は市場に出回る多数のフルレンジラウドスピーカーとも相性がよく、ハイクオリティなマルチメディアシステム向けに使用することができます。

SB150zP は洗練された高性能デジタルシグナルプロセッシングを併用し、低域特性を最適化するよう設計されています。クロスオーバーやイコライゼーションには EAW の UX シリーズを使用してください。

アプリケーション：A/V システム、会議室、教室、展示スペース、特殊効果設備、クルーズ客船、TV スタジオ、レストラン、小規模ダンスホールなど

## ENCLOSURE

- 材質** パルト海沿岸産樺材合板  
**仕上げ** 耐耗製テクスチャーペイント, 黒  
**グリル** ビニールコーティングパンチングスチール

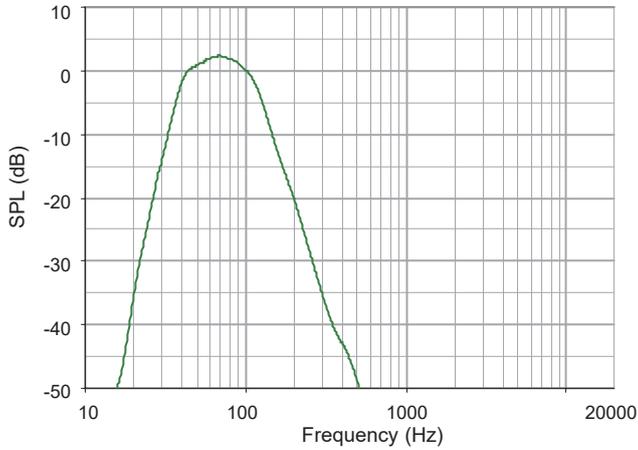


## PERFORMING DATA

詳細は最終ページの NOTES GRAPHIC DATA をご覧下さい。

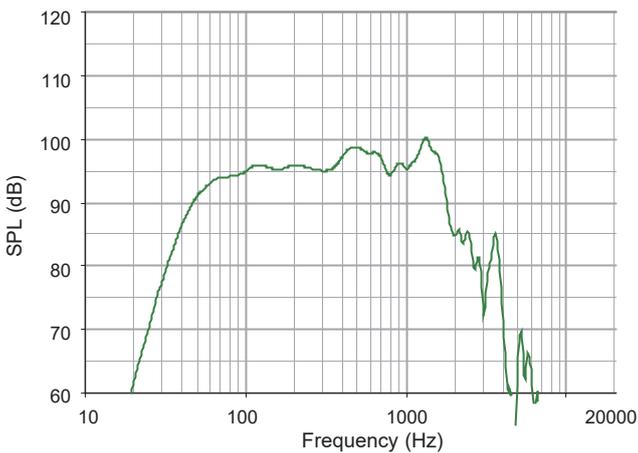
### 周波数特性: プロセッシング済みの場合

LF Whole Space = 緑



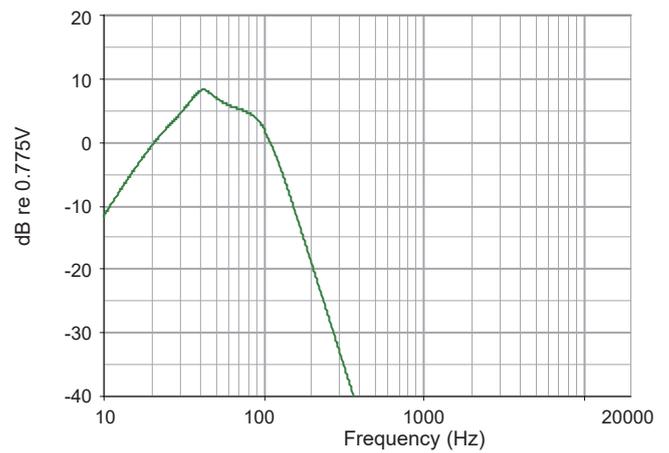
### 周波数特性: プロセッシングしていない場合

全体 = 緑



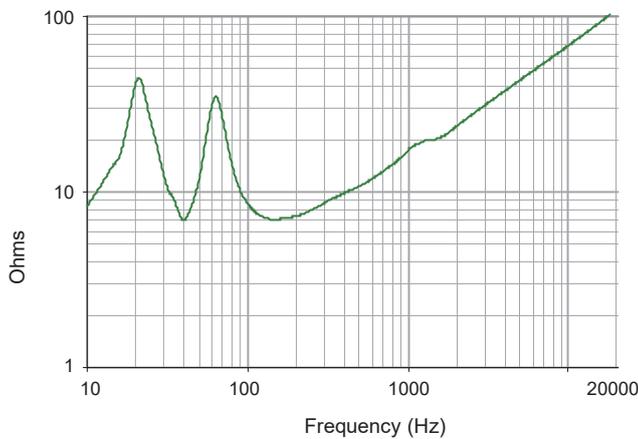
### 周波数特性: デジタルシグナルプロセッサ

LF = 緑

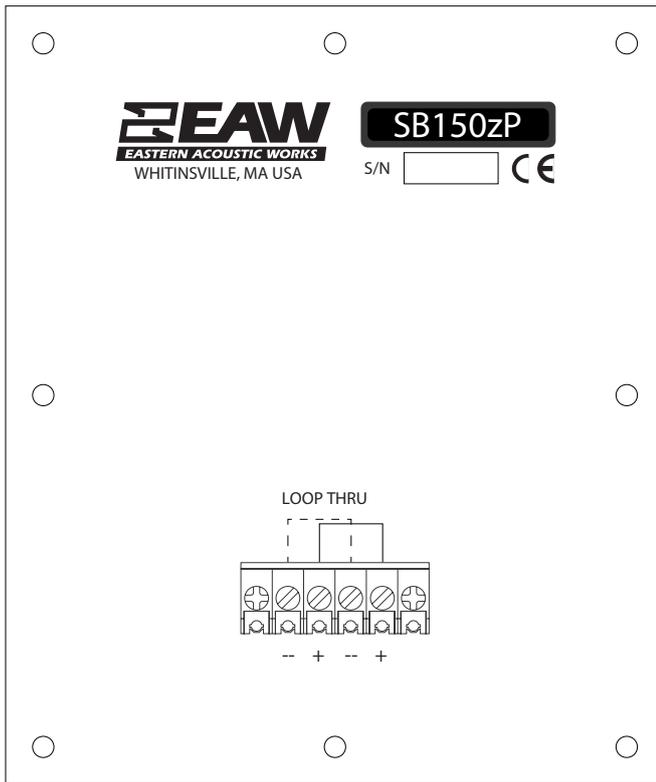


### インピーダンスマグニチュード

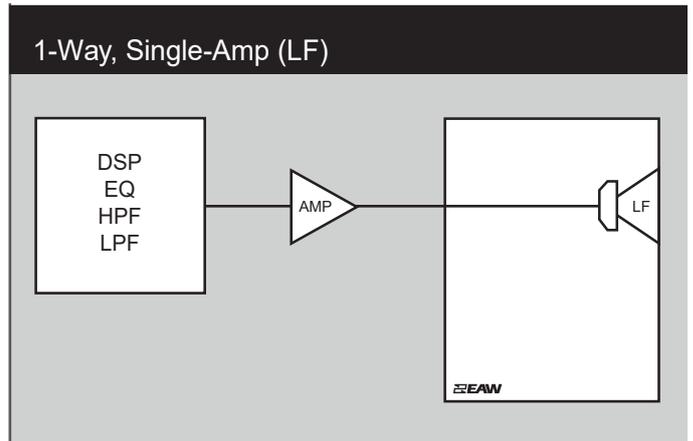
LF = 緑



## INPUT PANEL



## SIGNAL DIAGRAM



## LEGEND

DSP: EQ, リミッター、ディレイ等用にご用意ください。  
 HPF: クロスオーバー用、あるいは推奨値に設定して下さい。  
 LPF: クロスオーバー用ローパスフィルターです。  
 LF/MF/HF: LFは低域、MFは中域、HFは高域を表します。  
 AMP: 適切なパワーアンプをご用意下さい。  
 XVR: ハッチのLPF、HPF、EQ

## NOTES

### 表組みデータについて

- 測定 / データプロセッシングシステム : プライマリ - FChart (EAW 専用ソフトウェア) ; セカンダリ - B&K 2012
- マイクシステム : Earthworks - M30; B&K 4133
- 測定 : デュアルチャンネル FFT; FFT 長 32,768 サンプル; サンプル周波数 48kHz; 対数サインウェーブスイープ
- 測定システムの品質 (不明分含む) : SPL: 正確度 ± 0.2 dB @ 1 kHz, 精度 ± 0.5 dB (20 Hz - 20 kHz), 分解能 0.05 dB; 周波数: 正確度 ± 1%, 精度 ± 0.1 Hz, 分解能 1.5 Hz または 1/48 oct 以上 時間: 正確度 ± 10.4 μs, 精度 ± 0.5 μs, 分解能 10.4 μs; 角度: 正確度 ± 1°, 精度 ± 0.5°, 分解能 0.5°
- 環境 : 時間窓による測定。測定スペースの影響をプロセッシング時に排除しほぼ無響室をシミュレート。無響あるいは小スペースのデータとしてプロセッシング。
- 測定距離 : 7.46 m。音響特性は 20 m でのサブシステムのパワーを位相振幅合成で算出して表示。逆二乗則を適用して他距離のデータを算出。
- エンクロージャーの向き : 放射幅とポラーパターンは寸法図通りの向きで測定。
- V (ボルト) : テスト信号の rms 値を測定
- W (ワット) : プロオーディオ業界における「スピーカーの W」は因習的に電圧の 2 乗を定格公称インピーダンスで除算する。このため、国際的な基準で定義されたエネルギーとしての W という真の単位ではない。
- SPL (音圧レベル) : 信号の平均レベル相当。0 dB SPL = 20 μ Pa
- サブシステム : 各通過帯域のユニット及びその音響的負荷。Sub= サブウパー、LF= 低域, MF= 中域, HF= 高域
- 動作モード : 選択可能なコンフィギュレーション。サブシステム同士がコンマ (,) で区切られている場合 = アンプチャンネルは別。サブシステム同士がスラッシュ (/) で区切られている場合 = 単一アンプチャンネル。DSP = デジタルシグナルプロセッサ。重要: 表記された仕様を実現するためには EAW 提供の設定による外付デジタルシグナルプロセッサの併用が必要。
- 動作範囲 : プロセッシングされた周波数特性で平均出力音圧レベルから -10 dB SPL 以内の範囲の数値。幾何学的な軸上で測定。狭い帯域でのディップを除く。
- 公称放射幅 : 0 dB SPL を最高レベルとした時 -6 dB SPL のポイントで設定
- 軸上能率 : 公称インピーダンスで 1 W を出力する入力電圧を供給した時の動作帯域における平均出力音圧レベル。外部プロセッサを使用せず幾何学的な軸上で測定。距離 1 m。
- 公称インピーダンス : 4, 8, 16 Ω の抵抗を選択。最小インピーダンスポイントは動作範囲内でこの値を 20% 以上下回らない。
- 推奨ハイパスフィルター : 動作範囲を下回る過剰な入力信号からスピーカーを保護するために適用するもの。
- アクセラレートライフテスト : EIA-426B で定義されたスペクトルを供給した際の最大テスト入力電圧。推奨シグナルプロセッシング/プロテクトフィルターを併用して測定。
- 軸上限界出力算出値 : アクセラレートライフテスト中に実現可能な平均音圧レベルの最高値とピーク音圧レベル。ピーク SPL はライフテスト信号が持つ 2:1 (6 dB) のクレストファクターを反映。

### グラフデータについて

- 解像度: 重要性の低い細部を除去。音響的周波数特性は 1/12oct のケプストラムで平滑化。放射幅とインピーダンスは 1/3oct のケプストラムで平滑化。他は未加工。
- 周波数特性: 周波数ごとの音響出力の変動を表示。入力信号は一定で 0 dB SPL にノーマライズ。公称インピーダンス 4 Ω の場合 2V, 公称インピーダンス 8 Ω の場合 2.83V, 公称インピーダンス 16 Ω の場合 4V。距離 1m。
- プロセッサの特性: 0.775 V=0dB の一定した入力信号に対する周波数毎の出力レベルの変動を表示。
- 放射幅: 1/3oct の周波数帯での平均角度。スピーカー背面から測定を開始して最高レベル 0 dB SPL に対して -6 dB SPL となったポイント。この方法では放射角度内に -6dB SPL までドロップした部分も含まれる。
- インピーダンス: インピーダンスの変動を Ω で表示。対周波数で表示し電圧 / 電流の位相は参照しない。インピーダンス値は真の W (上記参照) の算出には使用しないものと思われる。
- ポラーデータ: 100 Hz から 16 kHz または動作範囲における水平と垂直の 1/3 oct ポーラ特性。